

平成29年度さくらフェローの会 実践報告会

去る平成29年11月21日、本校にて「さくらフェローの会実践報告会」を行いました。今年度は、一般企業、福祉事業所等から28名の皆様に出席していただきました。本校からは中学部・高等部の希望の生徒が参加しました。



玄関で出迎えの生徒は、緊張した面持ちでしたが、最後まで笑顔で対応しました。受付係は、お客様に資料を渡して出欠確認をおこないました。そのとなりでは、生徒会を中心に大きな声で挨拶運動です。事後アンケートの中に「今年の出迎えは大きな声で今までで最高だった!」と書いてくださっている人もいました。

会場までの案内係も、丁寧な案内ができました。

会場では到着したお客様に「ようこそお越しいただきました。」とペットボトルのお茶だしをがんばってくれました。

実践発表

まずは全体での実践発表です。最初はウエディングヒルラヴィーナ和歌山で働く卒業生の発表でした。仕事から学んだことの発表の後、職場の方、先生、さくらフェローの会の皆様への感謝の気持ちをしっかりと伝えていました。学生と社会人は責任を果たすことに大きな違いがあるなど、社会人になってから気づいたこともしっかりと発表し、後輩たちの立派な見本になりました。



続いては高等部3年生の発表です。最初の生徒は、会場中に響き渡る大きな声でマイクを使わずに発表しました。実習の中で失敗から学んだことや先のことを考えて行動することが大切だと自信を持って発表し、実習先のクロネコヤマト運輸株式会社の商業「クロネコヤマトの宅急便♪〜」の歌も披露しました。事後アンケートの中に「〇〇さんの発表を聞いて元気をもらった」というコメントがあり、本当にその通りの発表でした。



実践発表



最後の発表は、夏休み中に介護職員初任者研修の講座を終えて見事に資格を取得した3人です。

研修を通して利用者の立場にたった支援が大事だということや介助の具体的な方法について発表しました。

後半は実際に車いすを使って利用者と介助者の役になって実技をおこないました。段差を上がる時、車いすを止めるとき、車いすから人を立たせるときなどを実演しました。

「資格を取ってよかった。最後までやり通した。」と感想を話しました。

近々介護施設に実習に行き将来も介護職に就きたい希望を持っている生徒、介護職の希望ではないですが今回の研修を通して大きく成長した生徒、3人とも本当によくがんばったと思います。

座談会



いよいよ、メインの座談会です。座談会は、5つのグループに分かれて行いました。

今年度は参加申込書に記入し担任のサインをもらって参加できるようにしました。不安だけど頑張りたい、勉強したいという意欲を持って参加してほしかったからです。例年とほぼ変わることはない申込みがありました。質問は担任と相談しながら考え、その一つ一つにフェローの会の皆様がわかりやすく丁寧に返答してくださいました。メモを熱心にとる生徒、うなずいて話を聞く生徒、目を輝かせながら聞いている生徒たちの姿に、参加したフェローの会の方からも「本当に、この座談会を毎年楽しみにしています。自分たちの勉強になるし、少しでも学んでほしいと思います。もっと時間があってもいいかなと感じます。」などうれしいコメントをくださいました。

作業物品のプレゼント



座談会の後、それぞれの会場でプレゼント係がお礼の気持ちをこめて、作業物品を渡しました。心を込めて会社の社名を入れたものです。「こんなのくれるの～ありがとう!」とフェローの会の方も感激していました。

玄関で、高等部の訪問生が作ったストラップの販売も行いました。一編み一編み丁寧に真心込めてつくったストラップです。販売は他の生徒が協力し、5分もしない間に完売しました。「もうないんですか」「こういう製品があるならうちでも売れるよ」と声をかけてくれる方もいて本当にありがたかったです。完売したことを担任から本人に伝えるととても喜んでいました。



最後は玄関で見送りです。毎年多くの方にご参加いただいて「年々内容が良くなってきている」とアンケートにも記入していただいています。それも生徒のがんばりと教師のサポートがあってのことだと思っています。

生徒たちにとって自分の将来と向き合う貴重な機会となっている実践報告会。ここで学んだことを生徒だけでなく私たち教師も学んでいくべきだと思います。